

平成30年度蕨市歯科保健連絡調整会議 議事録

日時 平成30年7月12日(木)

午後1時30分～午後2時50分

会場 保健センター健康教育室

〈出席者〉

委員：山岡会長 杉村委員 望月委員 羽根田委員 飯野委員 関委員

代理出席；岡田主任（加瀬委員代理）

事務局：石丸所長 朝倉保健指導係長 長谷川保健師 山岸保健師

〈山岡会長挨拶〉

こんにちは。毎年恒例ですが歯科保健連絡調整会議ということで委員の皆様方におかれましてはお忙しい所お集まり頂きありがとうございます。今日ですが午前中に戸田市福祉保健センターで8020よい歯のコンクールが実施され、40名を超える方が参加されました。来年は蕨市にお願いすることになっています。本日は短い時間ですが活発な意見を期待しております。よろしくお願いします。

議題

〈平成29年度 実施事業結果について〉

◆ 事務局説明：資料「平成29年度蕨市事業統計」に基づき説明

委員：歯周疾患検診の節目外検診の受診率が年々低下傾向にある。自分で申込みをしているにもかかわらず受診率が低下しているのは、本人が忘れているというのもあると思うが気になる所ではある。

節目検診は受診勧奨通知を送っているが、節目外検診については受診勧奨通知を送っているのか。

事務局：節目検診については8月と10月に受診勧奨通知を送付しているが、節目外検診については、7月末に受診券を送付するのみで、受診勧奨通知を送付はしていない。

委員：受診勧奨通知を送付していないのは理由があるのか。受診率を上げることを考えると、受診勧奨通知を送付する必要があるのではないか。

事務局：やはり勧奨の問題で、せっかく申し込みをして当選をしているのに忘れている人に対して勧奨すると効果はあると思うが、今後検討させて頂く。

委員：今年度から勧奨通知を送るのは可能か。

事務局：節目外に関しては自分で申し込みをして当選しているにもかかわらず受けない理由も不明であり今現在受診勧奨は考えていない。

委員：630名くらいが受けられないという落選した事実をきちんと伝えた方が良いのではないか。

こんなに受けたかった人がいる中であなたは当選したということを強調した方が良いのではないか。また申込をする時点で落選者が多数いることをアピールした方が良いと思う。

事務局：平成26年度までは広報にはさんで申込を受けつけていた時は、350名ほどの申込者がいた。平成27年度より様式が変わり、個別で受診通知を送付し、750名以上の申込があった。申込みしやすさがあったがゆえに倍率が上がってしまったのもあると思う。委員ご指摘のとおり「あなたは●●人から選ばれた」と事前のアナウンスをすることであればこちらも対応できる。

委員：申込のしやすさは、逆にその後当選しても見過ごしやすいのもあると思う。節目外検診に関しては今年度から是非勧奨通知を実施して欲しい。

事務局：申込者については事前のアナウンスと、節目外検診の受診勧奨通知を今後検討していく。

委員：蕨市は他市と比べて子どものむし歯保有率が低いが何か介入で工夫していることはあるか。

委員：蕨市と歯科医師会が共催で秋に実施されている歯ッピーわらびで継続的に啓蒙活動をしている。

蕨は良い意味でコンパクトで、情報共有、認知度の共有、実行ができる。蕨市は各小中学校も近く、行政の目が届きやすくコミュニティの活動が盛んであることも理由であろう。

事務局：1歳児相談の際、歯磨きを始めているかを必ず保健指導の時に確認している。歯磨きを始めている方については始めるように指導している。1歳6か月児健診の時にはフッ化物塗布をしていて、2歳児も塗布券を配布しており、標準的な塗布の間隔もお伝えしている。

〈平成30年度 歯科保健事業について〉

◆ 事務局説明：資料「平成30年度蕨市歯科保健事業予定」に基づき説明

委員：1歳6か月児健診の際、フッ化物塗布をしていない方はいるか。

事務局：希望されない方の中にはかかりつけ医で数日前に受けたという方もいる。

委員：継続的に塗布をしないと意味がないので、現在は2歳児フッ化物塗布事業の受診率が40%前後で推移している。もっと向上すると良いと思うが、もう一工夫できないか。

事務局：3歳6か月児健診の際は、問診項目に「定期的にフッ化物塗布をしていますか」という欄があり、○がついていない方については、定期的にフッ化物塗布をするように保健指導している。

委員：最初の塗布時にフッ化物塗布カードみたいなものがあるといいのではないかと。1歳、2歳、3歳など塗布した方がよい年齢に、塗布日と歯科医院の④の欄があると「やらないといけない」と思い、動機づけには良いのではないかと。

委員：予防接種も抜けている欄があると「受けないといけない」という気持ちにもなるので、フッ化物塗布も同じようにあると効果があるのではないかと。

事務局：今後の検討課題とする。

委員：20歳の歯科健診の案内通知に例えば親知らずのレントゲンのイラストなどがあると分かりやすいのではないかと。

事務局：今年度より新たに案内通知にイラストを入れる。

委員：歯周疾患検診の抽選はやはり違和感がある。他の検診で抽選はあるのか。

事務局：胃がん内視鏡検診のみ抽選はある。

委員：抽選ではなく、自己負担を払い受診させる方法も検討して欲しい。自己負担を払い、枠をもっと広げてほしい。

事務局：医科と歯科は少し法律の規定が違う。行政が行う対策型検診の胃内視鏡検査は、国の基準だと50歳以上が2年に1回となっている。これに対し、健康増進法の規定では、歯周疾患検診は40歳や50歳などの節目年齢が対象であり、蕨市は30歳をプラスして、そのほか抽選も実施し、啓

発の意味を込めて、対象外年齢の100名にも実施している。色々なやり方があるが、歯周疾患検診は、節目年齢の受診率を上げていくのが本来の目的であり、実施方法については今後も研究していきたい。

〈その他〉

委員：歯科の学校健診で感じるのはむし歯の極端に本数が多い子がいて個人差が大きい。そのような子を救うには集団のフッ化物洗口しかない。蕨市はまだ実施に至っていないのが課題である。

委員：8020の達成率は50%と言われている。残存歯がある人ほど医療費がかからないというデータも出ている。介護費もかからない。生え始めの永久歯にフッ化物洗口をすると、集団ででき、簡便で安価で利にかなっているのでフッ化物洗口を検討して欲しい。

事務局：今後の検討課題とする。

午後2時50分、事務局より閉会を宣言